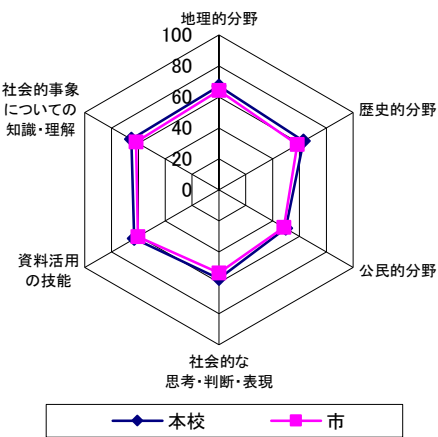


宇都宮市立豊郷中学校 第3学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	地理的分野	67.0	64.1	57.5
	歴史的分野	63.0	58.4	52.8
	公民的分野	49.7	48.5	40.7
観点別	社会的な思考・判断・表現	57.3	53.6	47.5
	資料活用技能	63.0	60.3	53.3
	社会的事象についての知識・理解	65.3	61.8	55.6

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
地理的分野	地理的分野の平均正答率が67%で、市平均を2.9ポイント上回った。 ○地球の姿と日本の諸地域に関する問題の正答率は、それぞれ市平均を3ポイント程度上回った。特に日本の工業生産の変化について資料をもとに判断する問題では、市平均を10.3ポイント上回った。 ●出生率などの一覧表から、人口ピラミッドの形を推測する問題では、市平均を2.6ポイント下回った。	・資料の種類によって、問題の正答率に差があることから、授業の中で様々なタイプの資料を提示し、読み取りの作業を繰り返し行っていきたい。
歴史的分野	歴史的分野の平均正答率が63%で、市平均を4.6ポイント上回った。 ○近世の日本に関する問題の正答率は、すべての問題で市平均を1ポイントから10ポイント上回った。特に江戸時代の文化について、複数の資料から判断して記述する問題では、市平均を10.8ポイント上回った。 ●西暦と世紀の表し方に関する問題のみ、市平均を3.5ポイント下回った。	・歴史学習の基本となる世紀の表し方の理解が十分でなかった。学習の基本をマスターしていないと、思考・判断する力の向上に結び付いていけないことから、毎回の授業の中で基礎・基本の復習を徹底し、繰り返して学習していきたい。
公民的分野	公民的分野の平均正答率が49.7%で、市平均を1.2ポイント上回った。 ○人権と公共の福祉に関する問題の正答率は、市平均を5ポイントほど上回った。 ●日本国憲法に関する問題の正答率は、市平均を4.5ポイント下回るものがあつた。	・日本国憲法は我々にとってとても大切なものであり、この学習内容を定着させるため、小テスト活用を増やすなどして基礎学力の充実を図っていきたい。

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの